



豊島区教育委員会
学校SDGs
推進アドバイザー

豊島区教育委員会「学校SDGs推進アドバイザー」

あべ おさむ 阿部 治先生からのメッセージ

SDGsは環境・社会・経済にかかわる問題を17個の目標を通じて同時に解決することで持続可能な社会を創ることを目指しています。その際に大事なことが環境という土台の上に社会、さらにその上に経済があるという視点です。自然環境が健全であってこそ私たちは衣食住を得て安心して暮らすことができ、健全な環境と安寧な暮らしがあってこそ経済活動がなりたつのです。これらの3つは相互に関係しあっているため、SDGsの17目標も相互に関係しあっています。これらの目標どうしのつながりの理解はSDGsの総合的な取組には不可欠です。まずは関心のあるSDGsの目標が他の目標とどんなつながりがあるかを調べてみてはいかがでしょうか。SDGsの総合的な理解に役立つとともに自身の行動が意外なところに影響を与えていることにも気づき、新たな行動を起こすことにつながると思います。

本事業にかかる取組について、専門知識や見識に基づく助言を受けるために、SDGsに精通した、立教大学名誉教授・公益社団法人日本環境教育フォーラム理事長の阿部 治氏に、「学校SDGs推進アドバイザー」に就任していただいています。阿部先生には、教職員に向けた研修や、学校や教育委員会の取組に対して様々なアドバイスをいただいています。



豊島区教育委員会
SDGs環境教育
アドバイザー

豊島区教育委員会「SDGs環境教育アドバイザー」

ますの こうじ 榎野 光路先生からのメッセージ

環境SDGsに取り組む学校に伺う機会が増え、コロナ禍の終息も感じられた一年でした。しかし一方で、新たな紛争や犯罪で安心安全が脅かされたと感じます。ステイホームでは、身近な暮らしの中にもスマホやSNSが常習化し、人々のITリテラシー（ITの理解と正しく活用する能力）向上が追いつかずトラブルや犯罪の社会問題が増えました。世界では、ヘイトや他国侵攻と国内クーデターなど、途上国で飢餓や人権問題をもたらす出来事が目立ちました。このような安心安全を脅かす問題を解決するためにもSDGsのリテラシー向上が大切で、行動するためにはエシカル（人、生物、地域社会、地球環境に配慮するみんなが持つ道徳的な考え方）教育がとても重要になります。この「地球のみんなが共通して持つ道徳観」からご家庭でも身近な環境SDGsを実践してみてください。

学校内のビオトープ等を拠点とした環境教育活動や学校と地域の協働活動を推進するため、大正大学社会共生学部公共政策学科 兼任講師 榎野 光路氏に「SDGs環境教育アドバイザー」に就任していただいています。榎野先生には、ビオトープ等の維持管理を通じた地域協働活動や環境教育・地域協働活動を検討している学校での研修やワークショップ等によりご助言をいただいています。

お問合せ 庶務課SDGs推進グループ 4566-2548

区立小学校、中学校、幼稚園で周年記念式典を開催

令和4年度は、駒込中学校が創立70周年を、さくら小学校が創立20周年を、南長崎幼稚園が創立50周年を迎えました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な学校活動が制限される中、母校の10年節目の晴れの年を、学校・地域を挙げてお祝いしたいという願いから、参加者や開催時間を縮小し、感染症拡大防止対策を十分に行った上で実施しました。子供たちは、厳かな式典の中、豊島区長や校長先生からのお祝いの言葉に耳を傾け、学び舎の歴史に思いを馳せていました。

来年度は、西巣鴨小学校が創立110周年を、朋有小学校が創立20周年を、池袋幼稚園が創立50周年を迎えます。



▲ 駒込中学校



▲ さくら小学校



▲ 南長崎幼稚園



お問合せ 庶務課庶務グループ 3981-1141